

## 川場村と東京農業大学との連携に至る経緯

群馬県川場村と東京都世田谷区は、昭和56年11月（1981年）区民健康村相互協力に関する協定（通称 縁組協定）を締結いたしました。

それ以来30年に渡り「都市と農村」の先駆的な交流を積極的に展開しています。

農林業を核としたプログラムを都市住民へ提供するためには、様々な工夫が必要であり専門的な知識や技術も必要となりました。

健康村事業を推進するに当たり計画立案の段階より東京農大教授が関わり以降の活動でも東京農大関係者の協力、支援を受けています。

幸いにも東京農大は、世田谷区内に立地していることから川場村は、健康村事業以外でも行政施策推進に東京農大関係者の協力、支援を受けています。

また、東京農大でも中山間地での農業や林業の研究、学生の実地研修などを川場村で進めています。

今回、川場村における地域活性化と東京農大の教育・研究の充実に寄与することを目的として相互に協力し連携交流を推進することといたしました。

## 東京農業大学関係者が関わっている事業など

### ◎区民健康村事業関係

- ・「区民健康村づくり」計画策定
- ・健康村事業予備活動の活動支援
- ・友好の森建設事業
- ・やま（森林）づくり塾の設立や運営
- ・健康村里山自然学校の設立や運営
- ・桜川「水辺の楽校推進協議会」の発足
- ・後山整備計画策定（地域再生計画として内閣府認定）
- ・食文化の交流（漱石の糠床研究と川場村への分与）

### ◎川場村事業関係

- ・川場村総合計画策定
- ・川場村地域住宅計画策定（ホープ計画）
- ・川場村景観計画策定
- ・川場村美しいむらづくりのための屋外広告条例制定
- ・グリーンパートナーシップの推進
  - ☆新規農作物・加工品の開発
  - ☆農業インターンシップによる就農体験（農大学生）